

牧師所感：

日 本 牧 師 の 友 情

— 韓国人牧師を配慮 —

過ぐる一週間、テレビの映像を通して、気象予報士は、太平洋から とても強い勢力の台風が到来するので 万全の防備をするようにと、警告を発せられた。

過ぐる一週間（8月12～18日）、警告を受けた私共 関東地方の住民は、以前（2019年9月15日前後）猛烈な台風の襲来によって、多大なる被害を被ったことを想起した。

その時 千葉県八街市に所在の我が教会では、一ヶ月間 停電により、苦難を強いられた経験がある。今年の台風も 関東地方を通り過ぎて北上するので、気が気ではなかった。

ところが 気象庁予報士の警告を聞かれた 名古屋居住の 同僚の日本の牧師より、緊急の時 発送する速達便で、安否を問うてこられた。何という友情だろうか。

頌主

台風7号が 千葉県、東京都 他に接近し、大雨、大風をもたらせているとの報道を聞いています。申 鉉錫 先生、御奥様、教会、牧師館の施設は守られるのだろうか と心配しています。主なる神様の導きによって 八街市において 福音を伝えてこられた 申 鉉錫 先生が 守られて 無事であられることを、切に 祈っています。「神は我らの逃れ場、我らの力。苦難の時の傍らの助け…… 地が揺らぎ、山々が崩れ落ち、海の中に移るとも」（詩篇 46、2～4、聖書協会 共同訳）とにかく 居ても 立っても おれなく 祈って、申 鉉錫 先生にお伺いを差し上げる気持ちとなりました。神様の守りと助けを祈っています。

主 に あ り て      松 浦      剛

以上の 先生の御心配をよそに、珍しく 台風は一部の海域に 暴風と雨を降らせたが、Uターンして 海上へと向きを変えて行った。

さて、上記の友情の手紙を御紹介したが、筆者には、日本全国に 大勢の友人牧師がおられる。ところで 諸先生方が、信徒の皆さんが、日本国で 60 年以上の宣教を支えて下さったことに 敬意を表する！！